



小野中学校だより
第 18 号
文責：校長 大河原久宗
2019.9.24.TUE

TEL:72-3355 FAX:72-2829

<教育目標>

- 【夢～自立・友愛・健康】
- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
 - ・互いのよさを認め、高めあう生徒
 - ・健康で、心身を鍛える生徒

練習を大切にする!

普段の生活の中で一番伝えたいメッセージ!



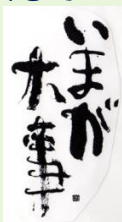
「こんな練習ばかりやっていると、試合に勝てるのだろうか？」
部活動の練習をしている時に、こんなボヤキが聞こえたことがありました。
「もっとフォーメーションの練習をしたいのに走ってばかりで何になるんだろう。縄跳びとランニング、コート内ダッシュだけでもう何日やっているのだろう。」

しかし、このチームは翌年の最後の中体連大会で優勝したのです。
『走ること』はあまりおもしろいことではありません。単調で、おもしろいどころか、むしろ嫌な部類に入る練習です。その嫌な部類に入る練習の『走ること』が、いろいろな活動の中で見受けられました。田村支部陸上競技大会や駅伝大会のときもそうです。田村支部駅伝大会前には選手になるならにかかわりなく、本当にたくさんの生徒が夏を通して走り込んでいました(上の写真は9/20の陸上朝練の様子です)。各部でも走ることを大切にしているのではないのでしょうか。

私自身も、運動の基本は『走ることにある』と思っていますから、バレー部顧問をしていたときも、そうした努力は必ず将来に実を結ぶと思っていました。明日のことも大切ですが、『それぞれの部活にあった走りとはどんなことなのか』をテーマにして、今後の練習に取り込んでみるのも意義のあることかと思えます。

さて、今週の水・木(予備日は金)と新人戦があります。冷たいような言い方かもしれませんが、試合の結果はそれなりの結果として出てきます。野球だと「0-4で最終回、2アウト満塁から同点満塁ホームランが飛び出して、次にサヨナラホームランがまた飛び出し5-4で大逆転勝利」なんていうことはほぼあり得ません。それなりとはどういうことかという、**『練習の仕方に応じて』**ということになります。自分たちが取り組んできた練習をまずは信じることです。それを信じる事ができればできるほど、自信につながってくるでしょうし、緊張も少なくなってきます。『練習をばかにしない』です。各部とも、いい試合をしてきてください。

今日の話は、1・2年生へのメッセージなのですが、実を言うと3年生へのメッセージでもあります。**『練習を大切にする』は、普段の生活の中で一番伝えたいメッセージ**なのです。大きな試合が待っていますね。今の練習があなた自身のいい試合につながっています。 **今を大切に!**



田村支部中体連新人大会 選手激励会でのエール!

2・3ヶ月前、先輩から引き継いだ新しいチームは、熱い夏の練習に耐え、練習試合やいくつかの公式戦を経験し、チームが少しずつ成長してきました。今は勝ち負けも大事ですが、試合内容にこだわっている時期だと思えます。まだまだ、夢への挑戦をしている途中ですから、この数ヶ月の練習で積み上げてきたプレーが新人戦で出せるかが大事です。いい試合をしてきてください。

【メダリストの条件】

- 1 練習で鍛え上げた技がある
- 2 失敗があってもそんなことはすぐ忘れて「よしやるぞ!」と、すぐに気持ちを切り替えることができる
- 3 練習で鍛えた自分の力に自信を持っている

※ 勝利の3Conも忘れずに!

「Condition (健康)」 「Confidence (自信)」 「Concentration (集中力)」

